あそび玉(だま)

人間は 銀河七万の惑星にすんでいる
宇宙は七十七の地区にわけられており 人口はおよそ—
…はじめ ぼくはそれに気づかなかった

さて 歴史をみて この人間がそもそもどの惑星から発生したのかというと——
さまざまの説があり たぶんにアルファケンタウリの

本日はこれまで——
あしたから都市人口と生態学にはいる 予習 わすれずにっ!

あは あの先生 終業ベルで話のこし折られると すぐ予習してこいだぜ たまんねえや
ティモシー あそび玉ゲーム やってくかい
うん

おっと!
フワッ

カチーン

!?

教室のゆかはたいらであそび玉ゲームにはうってつけだった
…あたる…！
まさか
カチーン！
わっ！
ストライク！
すごいやティつきすぎとるぜ！
連続十九回のストライク！
カチカチンカチンカチン
カチーン！
カチン
十…九回？そんなにいったかい？
……
このあそび玉の重心と弧から計算してもちょっと考えられないラッキーだぜどうなってんだ！
ティのあそび玉おかしいんじゃないか…
それともティの指がおかしいのかな？

……
アパートの窓から
とうさんのつとめている
宇宙港がみえる
空が赤っぽいのは
雨季が近いせいだ
あそび玉は
はじくと
ゆるい弧をかいて
進んでいく
このガラスの球体は
重心を少しずらして
つくってあったから…
うまくはじくと
うまくあたり
うまくあたると…

連鎖的に
九つ全部の
あそび玉が
動きだす
——
——……右に
ぶつかった
あそび玉
ころがって
べつの玉へ

はじかれて
またぶつかり
ぶつかって
ころがり

ぼくはあそび玉を
動かせる!!

都市の中枢はコンピューターであります
コンピューターによる人口調整によりベビーセンターでは

ピーピピ

あしたは遺伝学にはいる予習わすれるな!
ガタ
ガタガタ

ティ!
ゲームやってかないのかあ
バイおさきっ!
早そうと帰って何してんだやつ ガリ勉だろ

カチ
カチ
カチン
まあ ティ
この間から
かわったこと
ばかりしてる
のねえ
こんどのこれ
何の
しかけなの
ん…
しかけじゃ
ないよ
何ていって
説明したら
いいのかな
機械じゃない…
ぼくが
動かすんだ
…ぼく
重いものは
まだできない
けど…
動か…す
うん
考えるんだ
そして
動かすんだ
ハッ
!!
そんな
ばかなこと
二度としては
だめよ!

ばかな…？
なぜ
おまえのほかに
だれがこんな
ことをできる？
だれもいないわ
動かすなんて…
ママ
これは
いけない
ことなのよ
わかってティ！
いけない
ことなのよ
——ママは何を
いってるんだろ！
キンキン声だして！
へんだよ
なぜ
いけないこと
なんだ？
あそび玉を
動かすのは　とても
おもしろいのに！
あなた！
そのテレビの音
何とか
してちょうだい
何だか
ママは　けさ
精神不安定
のようだね
きのう
ぼく
しかられ
たんだ

何をしたんだ
ママにきいてよ！いってきます
？
…わたし市民としての義務をはたすべきかしら
あなた
ああわたしのあの子がつれていかれるのいや…！
みせてやろうか
たぶんきみたちアッというもの
あそび玉で!?また連続十九回のストライクかい？
ハハッ！
十九万回のストライクさ

すごい！
何やったんだ！
べつに何も……動かせるんだ
わ…
ポータブルの反重力装置使ってるんだろ！
できるんだよ心で
ほう…おもしろいことやってるね
先生

みんなだって練習すりゃできるようになるさ
心の中であそび玉をつかまえて動かすんだ
きみはじっさいそれをやってるの?
そうだよ
曲芸師にでもなるかね
ところでそろそろ下校の時間じゃないかね
バイ
バイ
…信じられないティはぼくたちをかついでるんじゃないのかい
そらごらんママは何も知らないんだよ
先生がみたって何もいわなかったじゃないか
!
…中央司令室へ…!
カチリ

…調査員をひとりよこしてください
超能力者がいます…！

な何だ何か用かい
もう一度やってみな

あれ？どうして
みたいんだ一度っきりでいいよほんとうにやれるのか？

フワッ

はなせよ
もういって
いいんだろ

…おい

……
いいか
おれの
クラスメイトに
おまえみたいな
のがいたんだ

…ほんと？
そいつは
教室で
あそび玉を
動かしたよ
おまえ
みたいに

うん
どうなったと
思う？

うん？
どうなったと
思う？

モウ　シテハ　ダメヨ！
イケナイコト
ナノヨ！
…どうなっ
た…？

トリスプロウに
いった
どこ？
中央病院さ

…ぼくは病気？
…こういうことをしていたら病気になる？
そりゃ知らないさ
ぼくが知ってるのはその子が神経熱の病気でトリスプロウへいったってことだけさ…あそび玉を動かしてみせたあとで！
その子はなおった？
いいや
…じゃいまもトリスプロウにいるのかい
いいや
…どうしてる
入院して一か月めに死んだよ
いまは墓地さ…四年まえの話さ

…ただいま…

ただいま！

カチャ

ビク

……

あ いらっしゃいませ

……

雨季が始まった
あと二百日は
雨ばかり

ティモシー
気分
どう？
いいよ
どうして

…べつに
雨季には
カゼや
神経熱が
流行
するから

のどが
へんだな
きのうの夕食　少し
あまい味だった

ママ　ぼくのこと
おこってるん
じゃない
——な
なぜ

もう　あそび玉やらないからね…ほんとだよ
……
ウッ
!!
…気分の悪いのはママのほうらしいね
……そう
おくれるよいいから学校へいきなさい
泣くんじゃない！しかたがないんだ見送っておやり…ちゃんと
ティモシー

雨季にはいったせいですよ
神経熱だと思いますがね
みんな教室へもどって

中央病院に救急車を一台
神経熱のことはならったっけ…
雨季に発生するこの惑星特有の……

…夕食…うまく…予定どおり…
バタン
救急車…？
中央病院…予…定？

夕食へんにあまかった
きのうはへんなお客がきていて…

ママは…けさ…泣きだして

!!
カチ

その子はトリスプロウへいって一か月後に死んじまった—

あそび玉が動くのなら……
ドアのカギも…
カチ
ロ…ッ

ティモシ…

逃げた!
……!

あの子がもし超能力を逃走に用いたら…
そのことばはタブーです使ってはいけません!

あなたは授業にもどってください
さわぎをおこしてはこまるのですわれわれで極秘にさがします
…ともあれ早くみつけて…処刑しなければ

…どうしたの？
気分が悪いんですか？
どこも悪くなんかない
はなして…

トリスプロウにいくのはいやだ！
つかまってしまう！
つかまる

熱は？
ない…
じゃ 助けてくれた…？

解熱剤を飲ませただけよ…でもよけいなことしたのかもね
どのみちあなたつかまるでしょうから…
……？

心…読んでるな…?
ええ…そう…

ときどき…わたしたちのような超能力者が生まれては毛なみがちがうというのでこっそり処刑される
わたしはせいいっぱい正常人のふりをしてうまくくらしてるの

おかしいな…! でも あなたは…逃げないの?

…ぼくはただあそび玉を動かしただけだよ ただ…
ええ そら それが

死罪なの 心理ゲームはやってはいけないこと
超能力者はコンピューターにくみこめない思考をもってるので完全な社会システムをみだすもとになるわ

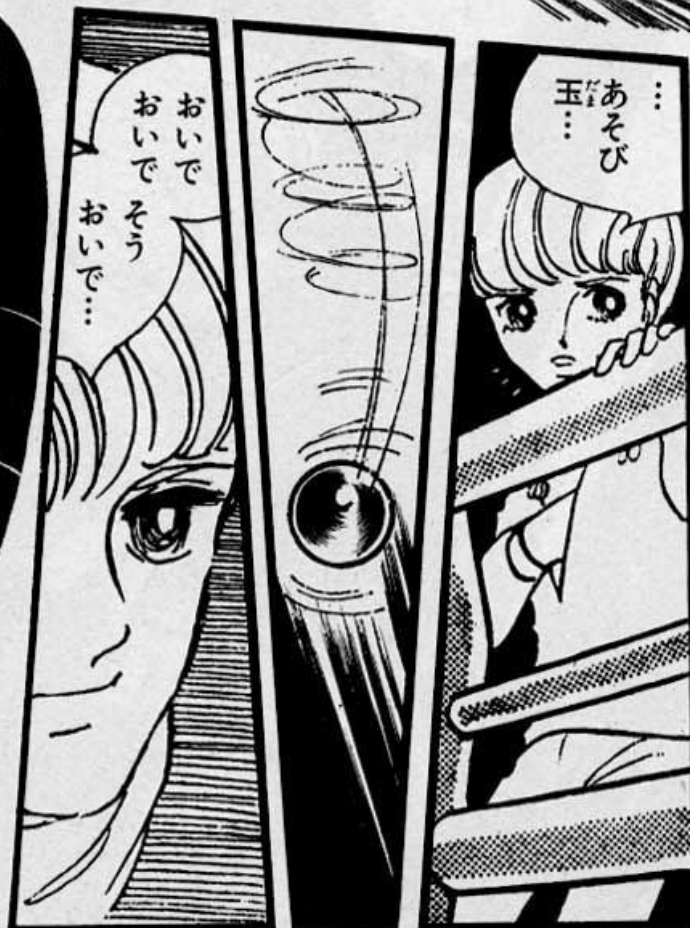
犯罪
それはやってはいけないこと
毛なみがちがう人種…
…処刑
超能力者
ヘマをしたぼく…!
ツーピーッ
000000

やあティラ！ したくできた？
おや お客！
あ…身うちの子がきてるの……
ぼ…ぼく もう帰らなけりゃ
デイトなんだろ？
悪いな！ きみのすてきな身うちにぼくは夢中なんだよ
デレエ
さよなら…いろんなこと教えてくれてありがとう
ありがとうじゃないわ
わたしもだれも…
あなたを助けてあげられない
どこへ？ あなた どこへ逃げるの？
…バイ ティラ！
バイ ぼうや
——どこへ——？
ぼくのいき場どこにもない！
——学校が
——家が
——社会 そのものが
ぼくをつかまえ つれていき
消してしまおうとしている…

…何と静かで
平和な社会
…異端者は
種子のうちに
つみとられる…だれも
知らないうちに
善良で豊かな
コンピュートピア
…それにしても
あそび玉ひとつで
社会のシステムは
くずれるのだろうか
カチン
なるほど
ストライクの
できる確率は
二十回に
一度だ
そうです
…このゲームは
禁止したほうがいい
超精神能力の
訓練を
やってる
ような
もんだ
ティモシー・
スーンの
足どりはどうだ?
死にたく
ない……!

しっけい
きみ
センターへは
どういけば…
…
センターなら
六番走路に
のってけばいい
どれ？ 案内
してくれるかい
いいよ
やあ
悪いね…
やあ
悪いね…
ダッ！
あぶない！
ティモシー！
きみー！
やめなさい
いいおとなが
走路をぎゃくに
走るなんて！
いや
わたしは…

★アステロイド＝火星と木星の間にまわる小惑星帯のことをそうよんでいますが、この物語では、それに関係なく主星をまわる小惑星群のことです。

ぼくの宇宙をまわれ
早く早くもっと早く！
そして
ノバ!!
きなさい…ティモシー

サイ…サイバネチック…
サイボーグだよ…超能力探知器をそなえつけてる生き残りさ
きみをつれにきた
…よるな!
一歩でも近よったら…ぶっ殺してやるぞ!
わたしをこわせるほどの能力があるのかね
知らないよ知ったことじゃない!
むかしはずいぶんすごい超能力者たちがいたものだ…それもたくさん…
そう戦争のころはね
戦争なんて…何千年もまえのことだ
それはつい八十年まえにおこったのだよ八十年まえにはたくさんの人が戦争で死んだのだ
それは人間と超能力者の…最後の戦争だった
そんなこと…教わらなかった
タブーになってる
そう…そして超能力者たちは…全滅してしまい…悲劇をくりかえさないために…
あそび玉を動かせると処刑してしまうんだね

わたしと
きなさい
ティモシー
いっそ　いま
殺しちまえよ
殺人能力は
ないんだ
世の中は平和
だからね
きみは
おいで
こなけりゃ
いけない
なぜむりに
つれてか
ない！
おたがいの
ために
ならない
ぼくは逃げる
きみの両親は
新しい子どもを
ベビーセンターに
もうしこんだよ
うそだ！
ぼくがいるの
に…
こんどは
女の子をね
ママは
泣いてたよ
きなさい
それが
一番
いいんだ
…

まってたんだよティモシー・スーン

どうなることかと思ったが　これでぜんぶすんだ!
ぼくの処刑がまだだ

…すぐだよ連絡はとってある

ぼくはほんとに生まれてはいけなかったんですか?

そうだよきみは毛なみがちがう
コンピューターシステムのこの社会は静かで統制がとれてとても平和だ…
その平和を少しでも長くたもつために
われわれはおたがいの領域にたちいらないことにしたんだ

超能力者たちは同じように戦争のあと静かな世界を遠い星につくった　きみは
そこへいくんだティモシー・スーン
ぼくの両親がそれを知ったら…泣かなくてもいいと思うんだけど……!
いや　おもてむきはきみはトリスプロウで病死することになってる
そうしてなさいじきにむかえがくる
ぼくは　じゃロケットで?
いやむこうの超能力者がきみをよびよせる…ジャンプだ
きみはまがった宇宙空間を飛んでいくんだよ
でもどこへ…?むこうって!ぼくは…
それは地球とよばれている遠い太陽の三番めの惑星だ
それは　その青い星から人類が生まれ宇宙へ飛んだという小さな伝説をもつ惑星だ
それは…

《おわり》　別冊少女コミック　1972年1月号に掲載